

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0592800049
法人名	株式会社 博コーポレーション
事業所名	グループホーム 西の森
所在地	〒012-1131 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字本町102 (電話) 0183-78-7138
評価機関名	財団法人 秋田県長寿社会振興財団
所在地	〒010-1412 秋田県秋田市御所野下堤5丁目1-1
訪問調査日	平成21年5月27日

## 【情報提供票より】 (21年5月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成19年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4人	非常勤 6人 常勤換算 6人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り
	2階建ての 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	0		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円) ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1月当たり 29,000 円		

### (4) 利用者の概要 ( 月 日現在 )

利用者人数	9 名	男性 5 名	女性 4 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 77 歳	最高 90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	雄勝中央病院、高橋歯科クリニック
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

昔ながらの商店街に面し、向かいにはスーパーがあり利便性に優れた立地条件に恵まれたホームである。平成20年度には、理念を「家庭的な雰囲気のもと、地域の中でふれあいを大切に、ゆっくり、のんびりと笑顔と安らぎのあふれるサービスを提供します」と一新し、運営者・管理者、職員がこの理念の実現に取り組んでいるホームである。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、ケアマネジメント及び医療・健康支援の分野で改善課題としてとりあげられていたが、ケアマネジャーが精力的に入居者及び家族と向き合い具体的な介護計画を作成し改善されている。また、主治医との連携や健康診断書の記録を残すなど改善されている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者・管理者・職員は自己評価を活かし、具体的な改善を図る取り組みがなされている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議での意見や報告を大切にし、入居者へのサービス向上に役立てよう努力している。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会時には、入居者の近況を写真等を用いて会話に含め、ホームの状況を報告すると共に、家族が意見を話しやすい雰囲気作りに努めている。また、面会にこられない家族には、毎月手紙で入居者の近況を知らせている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>積極的に買い物、散歩などに出かけ、日常的に地域との交流を深めている。また、地域行事には積極的に参加することにより地域との連携を深めている。</p>
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者・管理者・職員で話し合い、平成20年度に「家庭的な雰囲気のもとに、地域の中でふれあいを大切に、ゆっくり、のんびりと笑顔と安らぎのあるサービスを提供します」を掲げ、入居者がその人らしく生活できるようホーム独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新しい理念を、運営者・管理者・職員が共有し、ケアの方向性の統一を図っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常的に買い物、散歩などに出かけた際にあいさつをしたり、地域行事に積極的に参加したりすることにより地域の一員として地元の人々との交流を深めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価や自己評価の意義を運営者・管理者は理解し、職員会議等で職員と話し合い、改善課題について具体的に実践する取り組みを見出し改善に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見を大切にし、申し送りノート等を用いて職員に周知し、入居者へのサービス向上に役立てている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター、社会福祉協議会、役場保健福祉課等に近況報告や情報交換を行い、サービスの向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に、写真やかかりつけ医の受診結果等の入居者の状況やホームの運営状況について報告している。また、面会にこられない家族にも、毎月手紙にて暮らしぶりや金銭管理状況等を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関には苦情受付の取り決めが明示されている。また、苦情受付箱を設置して家族が意見を表せる場を明確にし、家族の意見を運営に反映させる取り組みがされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が異動等で代わった場合には、入居者が不安にならないように馴染みの職員と二人で対応し入居者への影響が最小限となるよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、定期的に職員間でテーマを設け勉強会を実施している。外部の研修会に参加した職員は、報告書を提出すると共に勉強会で活用し働きながら学べる取り組みを行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内にあるグループホームや他県のホームとの職員交換研修を実施すると共に、勉強会を行いネットワークづくりやサービスの向上に努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	入居者や家族と話し合い、同じ屋根の下で暮らす仲間として、家庭的な雰囲気の中での生活を送れるように努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事や食事の時間等を活用し、さりげない会話から本人の関心事を引き出し、共に笑顔で安らぎが得られるような関係づくりに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人らしい暮らしを続けるために、介護計画作成時や再検討時に本人の思いや暮らし方について話し合い、入居者の用いる表現や言葉を大切に、本人の意向に添えるよう検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意見や主治医の意見書等を活用すると共に、職員会議で意見交換を行い、本人がよりよく暮らすための介護計画を作成しチームで実践できるよう努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の体調の変化等に対応して、本人や家族、職員や必要な関係者と話し合い、介護計画の見直しを図っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	商店街の中心地にあるホームの立地条件を活かし、入居者の突発的な買い物、外出等の要望にも柔軟に対応し支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望を大切にし、かかりつけ医にいつでも相談や適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人並びに家族の意向をよく理解すると共に、職員で重度化した場合や終末期の変化に対応したあり方について話し合い、ホームの方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉遣いは丁寧であり、記録等はきちんと保管されており、プライバシーの確保がされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常のさりげない会話の中で、入居者一人ひとりのペースを大切にし、入居者の希望にそった生活できるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片づけは、入居者自ら率先して行うなど生き生きとした表情がみられる。また、入居者の食べこぼし等については、尊厳が傷つけられることのないようさりげない支援がされ食事を楽しめるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームでの入浴は原則週2回であるが、入浴日や時間帯は入居者の希望や健康状態に合わせており、入浴を楽しめるように工夫されている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の気分や関心は、その時々で変化するので、そのときの会話の中から入居者にあった楽しみ事や興味あることを見だし支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日のスーパー等のチラシを見て買い物に出かけたり、天気のよい時は散歩やドライブを計画し、その日の希望により外出できるように支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	帰宅願望や突然外へ出て行くときは入居者のそのときの気持ちを第一に考え、職員も一緒に付き添うようにして、鍵をかけないケアに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災等の災害時に対するマニュアルを整備し、定期的に避難訓練を実施している。また、町内の方々に日頃からあいさつしたり町内会等で協力を得られるよう働きかけている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態や食べる量を把握し、食事時にさりげない声がけによりバランスよく食べるよう支援している。	○	食事は入居者の健康維持のための重要な要素であるため、定期的に、栄養士等の専門職から栄養バランスやカロリー等をチェックしてもらう等の工夫を期待する。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、不快な音や臭いもなく、よく採光が取られており、居心地が良く過ごせるよう工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、入居者と家族がよく相談し、使い慣れた家具や好みのもを持ち込み、家庭的な雰囲気の中で過ごせるよう工夫されている。		

※  は、重点項目。